

## 『標準高等地図』 特色一覧

項目	特色
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆A4判の大判かつ美しい等高段彩表現の地図で世界及び日本の各地域が取り上げられ、地理歴史科・公民科の学習上必要な地図・資料図・グラフ・統計がバランスよく掲載されている。</li> <li>◆地理の学習で重視される、地球的課題や防災、地理情報システム（GIS）に関するテーマ別資料図が豊富に掲載されている。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●世界・日本の諸地域に関する幅広い知識と教養が身に付くよう、大判を生かしてダイナミックに編集されている。</li> <li>・<b>基礎的・基本的な地図</b>に加え、世界の注目が集まる地域の<b>拡大図が豊富に掲載</b>されているため、世界・日本の諸地域に関する幅広い知識と教養が身に付く。</li> <li>・A4判の大きな誌面を生かした<b>ダイナミックな地図</b>で、世界及び日本の各地域が取り上げられている。また、<b>都市図が豊富に掲載</b>されているため、世界と日本の都市の様子が理解できる。</li> <li>・中国・ヨーロッパ・北アメリカの3地域には、鳥瞰図を掲載し、地域の姿をより具体的・視覚的に捉えられるようになっている。図中には生活、産業、著名な建築物などのイラストを配して、地域の特徴を確認できる。</li> <li>・日本を含め、世界の地形や気候の様子、民族や宗教の分布などを理解できる資料図が掲載されている。</li> <li>・<b>テーマ別資料図</b>では、地理の学習で重視される地球的課題から重要なテーマが取り上げられ、地図や図表を主体にわかりやすく提示されている。</li> <li>・<b>日本の領土</b>とその広がり正しく学べる地図・資料が掲載されている。</li> </ul>
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地図を前半に、資料図を後半にまとめた二部構成になっている。</li> <li>・地理歴史科・公民科の学習上必要な<b>地図・資料図・グラフ・統計がバランスよく掲載</b>されている。また、世界地図、日本地図、資料図、統計の各ページにおいて、<b>国や地域がバランスよく取り上げられている</b>。</li> <li>・歴史の授業で扱われる「史跡・歴史的に重要な地名」が記載されたり、公民科でも扱われるSDGsに関する資料も掲載されたりするなど、<b>地理以外の活用にも配慮</b>されている。</li> <li>・巻頭に<b>SDGsのアイコンと解説</b>が掲載され、テーマ別資料図ページと関連付けができるようになっている。</li> <li>・統計ページでは、世界197か国の正式名称、主要な統計のほか、SDGsに関連する統計「<b>持続可能な社会を考える統計—事実と数字—</b>」が掲載されている。また、世界の主要な国々とその国旗についての概要が掲載され、国際理解が深められるように配慮されている。</li> </ul>
表記・表現及び使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々な地図表現が適宜効果的に用いられ、必要な情報が読み取りやすくなっている。</li> <li>・世界、日本の地図ページは、標高ごとに配色する<b>等高段彩表現</b>が用いられている。地名は過度に盛り込みすぎないように精選され、また、できるだけ大きな文字が使われ、地図が見やすくなるように配慮されている。</li> <li>・世界地図ページには<b>位置図</b>が設けられ、当該地図における地球上の位置が確認しやすくなっている。</li> <li>・作業を伴う具体的な問い「<b>読図のヒント</b>」が随所に設けられており、地理的な見方・考え方を働かせながら地図を読み取る力が身に付く。</li> <li>・世界及び日本の各地域を捉える上で、重要な地名・事項が“自然”、“産業”、“歴史”、“社会”の4つに分類して解説された「<b>地名解説</b>」が設けられている。</li> <li>・テーマ資料図には、「<b>読図のヒント</b>」「<b>SDGsのヒント</b>」などが適宜設けられ、地図やグラフなど複数の資料を読み解きながら、地球的課題やその現状について考察できるようになっている。</li> </ul>
ユニバーサルデザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の国名や日本の都道府県名は、<b>白色で縁取り</b>したり、<b>ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）</b>を使用したりするなど、判読しやすいように工夫されている。</li> <li>・色覚に特性を持つ生徒でも色を判別して地図が読み取れるように色彩表現が工夫されている。判別しにくい色彩が隣り合う場合には、一部の凡例に模様（地紋）が入れられるなど、<b>カラーユニバーサルデザイン</b>に配慮している。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み取りやすい地図にするため、緑の発色がよい<b>クサ色など特殊インキ</b>を加えた5色で印刷されている。</li> <li>・統計ページもフルカラーで印刷され、資料が読み取りやすくなっている。</li> <li>・紙は反射を抑えつつ鮮明に発色し、裏写りしない軽量なものが使用されているため、地図・写真が美しく鮮明に表現されている。</li> <li>・長期の使用に耐えうるよう、糸かがりしたうえで糊付けされた<b>堅牢な製本</b>になっている。</li> <li>・環境に配慮された<b>再生紙</b>と<b>植物油インキ</b>が使用されている。</li> </ul>